

11月 星空案内



星空の暦



11月12日頃 おうし座北流星群の極大

おうし座流星群は、10～11月を中心に長く活動する流星群で、2つの放射点を持っています。それぞれの極大日は、南群が10月10日頃、北群が11月12日頃です。特に、北群の極大日前後は新月に近いので、観測がしやすくなります。1時間に2個程度の小さな流星群ですが、“火球”と呼ばれるとても明るい流星を、比較的多く観測できる可能性があります。

11月19日頃 木星、土星、月の接近

日没後から20時頃まで、南西の低い空に、木星と土星が近づいて見られます。さらに19日頃は、この2つの惑星に月が接近します。街明かりの下でも、明るく輝く姿を肉眼で楽しむことができます。

11月30日 半影月食

太陽の光によってできる地球の影を月が通過することで、月の見え方が変化する現象を“月食”と呼びます。今回は、半影と呼ばれる薄い影を通過するため、わずかに暗い影がかかって見えます。部分食のように月が欠けて見えるわけではないため、ぜひ、写真や映像の比較で楽しんでみてください。食の最大は、18時42分です。

今月の星座



くじら座

手足にかぎ爪を持つ怪獣の姿を表した星座です。同じ秋の星座である、ペルセウス座とアンドロメダ座が登場するギリシア神話（エチオピア王家の物語）に描かれています。心臓にあたる星、ミラは明るさが周期的に変わる変光星です。

みなみのうお座

水面から飛び跳ねる魚の姿を表した星座です。また、みずがめ座の水瓶から零れ落ちた酒が、魚の口に注いでいます。その口元には、一等星のフォーマルハウトが、秋の南の空で、一際明るく輝いています。ギリシア神話では、うお座の2匹の魚の親魚であると言われています。

みずがめ座

水瓶を持つ、美少年ガニメデの姿を表した星座です。ギリシア神話では、大神ゼウスによって地上から天にさらわれ、神々にお酒を注ぐ役目を任されました。大神ゼウスの姿も、すぐそばに、わし座（夏の星座）として描かれています。

ワンポイント！ 北の方角の探し方

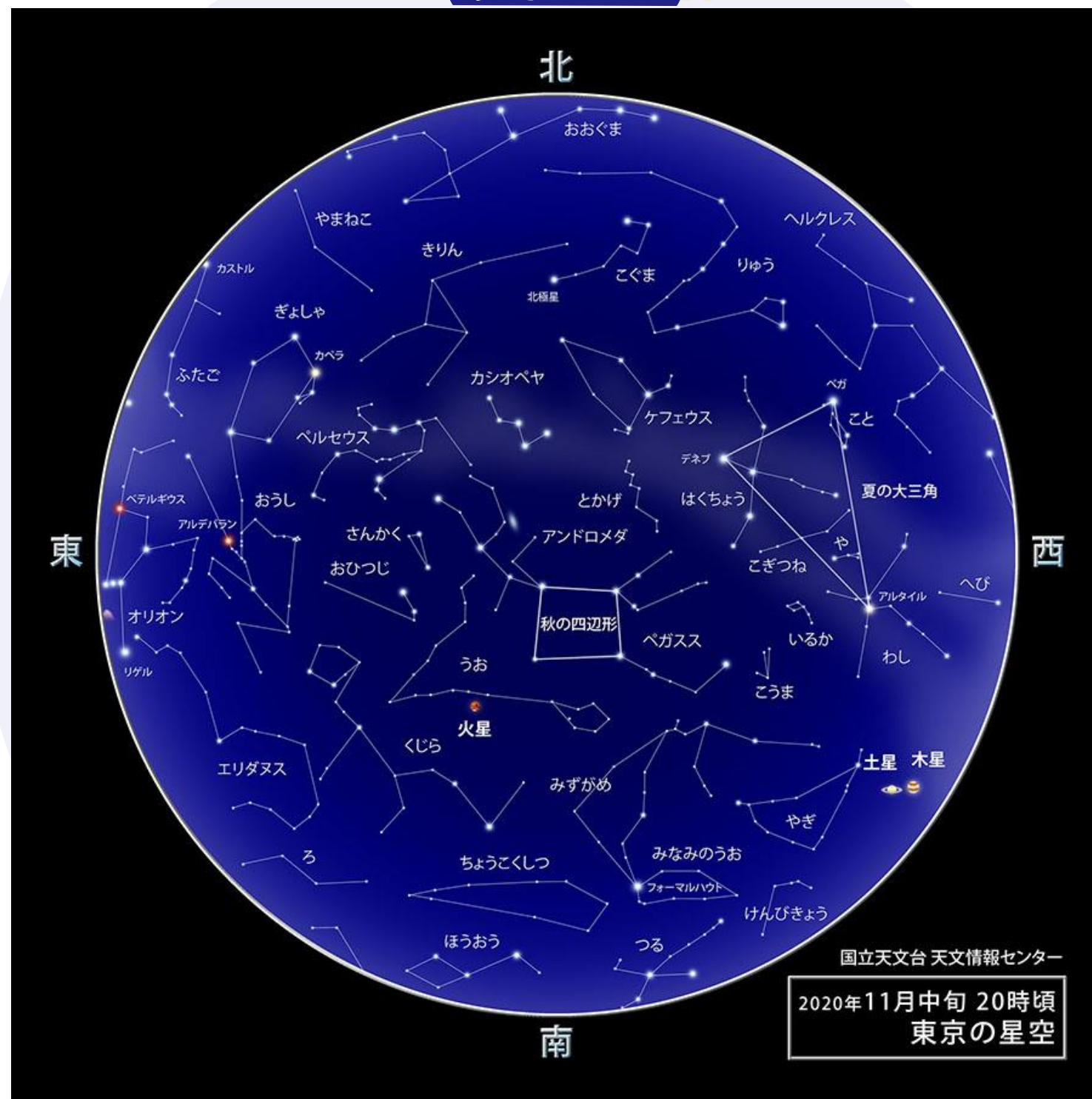
カシオペア座から、北極星を探ることができます！



北極星

5倍!!

今月の星空



季節の小話



お誕生日の星座

太陽の通り道(黄道)に輝く12個の星座を黄道12星座といいます。お誕生日の星座は、このうち、生まれた日に太陽の方向に見える星座です。そのため、自分の誕生日の星座は、誕生月の2～3か月前の夜空で見やすくなります。

- *さそり座 (10月23日～11月22日頃)
- *いて座 (11月23日～12月21日頃)

二十四節気

二十四節気は、太陽の黄道上の動きを24等分して作った暦です。

- *立冬 (7日頃) …暦の上では、この日から立春の前日までが、冬となります。
- *小雪 (22日頃) …山では初雪が舞い始め寒さが厳しくなる頃、とされます。